

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

共通駆動系制御コンピュータ

対象車両設計時に開発した故障診断ツール用のプログラムが不適切なため、当該ツールを使用した際に、車両の共通駆動系制御コンピュータのデータが初期化され、オートクルーズやエンジン補助ブレーキの不作動、坂道発進補助装置が解除されない等の不具合が発生する場合があります。また、低速ギヤ段でのトルクカット機能が不作動となることから、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、トランスミッションやデファレンシャルギヤが破損し、走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、対策プログラムに交換した故障診断ツールを用いて共通駆動系制御コンピュータを点検し、データが初期化されていた場合は正規のデータに書き換える。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD133」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストラライカー付近

バス：車両左後方点検リッド裏